

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
 【**単独**・連携事業】

市町名	真岡市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	「もおか環境パートナーシップ会議 環境保全活動」事業	総事業費	730,380	733,155	720,000	720,000	720,000	3,623,535
		うち市町支出額	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	3,600,000
		うち県交付金	360,000	360,000	360,000	0	0	1,080,000
2	真岡まちづくりプロジェクト事業	総事業費		755,937	3,500,000	3,500,000	3,500,000	11,255,937
		うち市町支出額		755,937	3,500,000	3,500,000	3,500,000	11,255,937
		うち県交付金		377,698	900,000	900,000	0	2,177,698
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	730,380	1,489,092	4,220,000	4,220,000	4,220,000	14,879,472
		うち市町支出額	720,000	1,475,937	4,220,000	4,220,000	4,220,000	14,855,937
		うち県交付金	360,000	737,698	1,260,000	900,000	0	3,257,698

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	「もおか環境パートナーシップ会議 環境保全活動」事業
事業主体の名称	もおか環境パートナーシップ会議
代表者の名称	会長 上野 博正
事業主体の所在	〒321-4395 栃木県真岡市荒町5191
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 真岡市において「環境基本計画」が策定された際に、人と自然が共生して環境への負荷の少ない環境都市づくりを目指し、市民・事業者・行政が一体となって協働による住みよいまちづくりを進めることが目標として定められ、その役割を履行していくために「もおか環境パートナーシップ会議」が設立された。</p> <p>・設立年月日: 2006年2月20日</p> <p>・構成員等: 個人 60名、企業等 13団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・真岡市は、東に連なる八溝山地、西に流れる鬼怒川を抱えるなど自然豊かな都市であるが、市民がそのような自然環境を感じる機会は少なくなっている。</p> <p>・市民・事業者・行政の協働により保全活動を行い、真岡市の環境について再確認することで郷土愛の醸成を図ることができると考えるが、市民が環境保全活動など自然に触れ合う機会は少ない。</p>
事業目的	<p>市民・事業者・行政の3者の協働による環境活動を行う。</p> <p>本市の恵まれた自然環境を通して、市民の郷土愛を醸成するとともに、市外からの来訪者にその魅力を発信することで、市民に愛着を持ってもらい、交流人口・関係人口の増加に繋げ、地域の活性化を図る。</p> <p>また、事業の実施する組織の支援を通して、市民等の自主的で持続的な活動を促進していく。</p>
事業概要	<p>【令和4年度】</p> <p>当会は4つの部会を設けており、環境保全活動及び地球温暖化対策等への取組みを行っている。各部会・グループの活動内容については、下線部の内容を追加し、実施した。</p> <p>●大久保地区モデル事業部会：自然ふれあい園“大久保”での環境保全活動の実施 花グループ：市民の憩いの場となるような花畑等の管理 ホテルグループ：ホテルの棲める水辺環境の整備とピオトープ池の管理 森グループ：里山林の整備と活用 動植物調査グループ：大久保地区周辺の調査と資料の収集</p> <p>●環境学習推進事業部会：地球温暖化防止のために市民へのCOOL CHOICEの周知と環境学習会の開催</p> <p>●エコ・レポーター事業部会 環境状況を把握するため、不法投棄現地調査やマイバック持参率調査の実施</p> <p>●広報部会：広く市民に環境問題へ関心を持ってもらうため、活動情報を発信</p> <p>このほか、環境学習活動として、新たな連携企業等を増やすことで、工場見学など環境学習メニューを整え、市民等に環境問題について興味を喚起するとともに、市民・事業者・行政が一体となった取組を推進していた。</p> <p>加えて、先進地の視察も行き、団体の活動をよりよいものにしていく。</p> <p>【令和5年度以降】</p> <p>令和4年度に実施した活動を継続していくと共に、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、環境学習会の実施規模拡大などを行っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる】</p> <p>観光PRの強化に加えて、本市ならではの産業、居住環境、自然環境等の特性や魅力を積極的に発信するシティプロモーションを推進する。</p> <p>【重要業績評価指数(KPI)】社会増減率 0.07%(平成30年度)→0.15%(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①環境保全活動の実施 ②地球温暖化防止のための環境学習会の実施 ③環境状況把握のための各種調査の実施 ④市民への環境の現状の周知(会報誌の作成等)	①環境保全活動の実施 ②地球温暖化防止のための環境学習会の実施 ③環境状況把握のための各種調査の実施 ④市民への環境の現状の周知(会報誌の作成等)	①環境保全活動の実施 ②地球温暖化防止のための環境学習会の実施 ③環境状況把握のための各種調査の実施 ④市民への環境の現状の周知(会報誌の作成等)		①環境保全活動の実施 ②地球温暖化防止のための環境学習会の実施 ③環境状況把握のための各種調査の実施 ④市民への環境の現状の周知(会報誌の作成等)
事業費	730,380	733,155	720,000	2,183,535	720,000
市町支出金(ソフト事業分)	720,000	720,000	720,000	2,160,000	720,000
うち県交付金	360,000	360,000	360,000	1,080,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	10,380	13,155	0	23,535	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	小池 宏祐
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「もおか環境パートナーシップ会議 環境保全活動」事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市交付金	720,000	
繰越金	13,155	
計	733,155	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	20,000	20,000	10,000	0	・環境学習会 講師謝金
旅費	0	0	0	0	・先進地視察 交通費
消耗品費	309,945	309,000	154,500	945	・環境保全活動用品 (軍手・ゴミ袋 等) ・環境学習会用品 (工作キット 等) ・環境調査消耗品 ・事務用品
燃料費	29,309	29,000	14,500	309	・刈払機用燃料
印刷製本費	183,480	183,480	91,740	0	・アンケート印刷 ・会報誌印刷
修繕費	17,860	17,860	8,930	0	・活動備品用倉庫 修繕 ・環境保全機器 修繕 (刈払機 等)
通信運搬費	10,120	10,120	5,060	0	・アンケート郵送 ・会報誌郵送
備品購入費	162,441	150,540	75,270	11,901	・刈払機 2台購入
計	733,155	720,000	360,000	13,155	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡まちづくりプロジェクト事業
事業主体の名称	真岡まちづくりプロジェクト
代表者の名称	事務局長 鶴見 幸代
事業主体の所在	〒321-4395 栃木県真岡市荒町5191
事業主体の概要	<p>団体の目的:市民協働、官民連携によるまちづくり活動に取り組み、中心市街地の活性化を図ることで、地域振興につなげる</p> <p>・設立年月日:令和4年3月1日</p> <p>・構成員等:構成員7名 事務局4名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・真岡市には真岡地区と二宮地区に中心市街地があり、そこには県指定文化財の岡部記念館「金鈴荘」(真岡地区)、二宮コミュニティセンター(久下地区)等の活用されていない公共空間が多く存在している。</p> <p>・「選ばれるまち もおか」を実現するためには地域の担い手の創出・確保が重要である。本市においても少子高齢化が進展しており、地域の担い手が不足していることから、新たな人材の育成等を進めていく必要がある。</p>
事業目的	<p>中心市街地にある低未利用の公共空間を活用する集客事業などの社会実験を通して、中心市街地へ人を呼び込み、地域の賑わいを創出する。加えて、本事業を通じて、市民が自ら本市の魅力をデザインし、発信することを通して、シビックプライドの醸成及び新たな担い手の創出につなげていく。</p>
事業概要	<p>令和3年度に市が主体となって、低未利用の公共空間の利活用を図るために、社会実験を行ってきたが、令和4年3月1日に任意団体「真岡まちづくりプロジェクト」を立ち上げ、引き続き社会実験を通して、更なる市民協働の取組の推進を図った。</p> <p>【令和4年度】</p> <p>①市民の手によるまちづくり社会実験の実施 対象地:真岡地区中心市街地、二宮地区中心市街地</p> <p>②地元事業者とのイベントの開催</p> <p>③ユースプロジェクトとして、学生(高校生、大学生、専門学校生)を対象として、2期生となるメンバーを募集し、学生の目標での社会実験の実施及び新たな担い手の育成等を図った。</p> <p>※事業概要については、別紙参照</p> <p>【令和5年度以降】</p> <p>①令和4年度の活動を元に継続して取り組みを進める。</p> <p>【関係人口】¹-a.d プロジェクトの参加者に宇都宮大学生など市外在住メンバーもいることから、市内、市外2つの目線で真岡市の魅力を創出することができる。また、学生目線での情報発信が行えることから、若者など普段真岡に訪れない層への誘客なども期待される。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標… 真岡市へ新しいひとの流れをつくる、安心で暮らしやすい時代に合った地域をつくる 移住・定住の促進に向けて、本市ならではの産業、居住環境、自然環境等の特性や魅力を積極的に発信するとともに、市民主体の活力ある地域づくり等を推進する。</p> <p>【重要業績評価指数(KPI)】社会増減率 0.07%(平成30年度)→0.15%(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	真岡まちづくりプロジェクトとして、令和3年度から引き続き、社会実験による中心市街地活性化を図る。	真岡まちづくりプロジェクトとして、令和4年度から引き続き、社会実験による中心市街地活性化を図る。	真岡まちづくりプロジェクトとして、令和5年度から引き続き、社会実験による中心市街地活性化を図る。		真岡まちづくりプロジェクトとして、令和6年度から引き続き、社会実験による中心市街地活性化を図る。
事業費	755,937	3,500,000	3,500,000	7,755,937	3,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	755,937	3,500,000	3,500,000	7,755,937	3,500,000
うち県交付金	377,698	900,000	900,000	2,177,698	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	小池 宏侑
電話	0285-83-8102
連絡先 FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡まちづくりプロジェクト事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	755,937	真岡市交付金
計	755,937	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
旅費	7,899	7,899	3,949	0	まちつくメンバー旅費
消耗品費	39,519	39,519	19,489	0	社会実験消耗品費 等
燃料費	1,100	1,100	550	0	イベント灯油代
食糧費	75,589	75,589	0	0	ワークショップ茶菓子代
印刷製本費	28,250	28,250	14,125	0	社会実験広告チラシ印刷費
光熱水費	0	0	0	0	拠点 光熱水費
通信運搬費	0	0	0	0	携帯電話、郵便料
手数料	202,640	202,640	101,320		グッドデザイン賞審査手数料 など
保険料	3,900	3,900	1,950		イベント保険料
委託料	170,500	170,500	123,045	0	アナウンス録音委託
使用料及び賃借料	90,200	90,200	45,100	0	衣装・ピアノレンタル
原材料費	53,840	53,840	26,920	0	社会実験原材料費
備品購入費	49,500	49,500	24,750	0	広報パネル
報償費	33,000	33,000	16,500	0	ボランティア謝礼
計	755,937	755,937	377,698	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合